**4月号**

**富士川大学　図書館便り**

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。桜満開の中での入学式で、学長の話に熱心に耳を傾ける皆さんを拝見し、こちらもすがすがしい気持ちになりました。いつまでも初心を忘れず、楽しいキャンパスライフを送ってください。

晴れて大学生となった皆さんは、これまでとは少し異なる勉強が始まるため、不安も多くあるのではないでしょうか。

図書館ではいつでも相談を受け付けています。どうぞ気軽に足を運んでくださいね。

**館長のおすすめ書籍**

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。館長の豊橋です。これから始まる学生生活が実り多きものになりますよう心より願っております。そして願わくは、図書館に一度も足を踏み入れないまま卒業することがありませんように…。

さて、新入生の皆さんにまず読んでいただきたい書籍があります。大学生になって、自分用のパソコンやタブレットを準備したという新入生も多いのではないでしょうか。学部によってはパソコンやタブレットが必須になっていますし、もちろん、個人的に使う人もいるでしょう。それに加えてスマートフォン。これは新入生に限らず、学生全般、いえ社会人も含め、今や大多数の人が携帯しています。とにもかくにも、皆さんの周りには情報機器があふれています。マナーやモラルは重々承知していると思っている学生諸君も多いと思いますが、今一度、この書籍を読んで、自分ならどうするかを考えてみてください。

■書籍情報

|  |  |
| --- | --- |
| 書籍タイトル |  |
| 出版社 |  |
| 仕様 |  |

■目次情報

**学生による学生のためのおすすめ書籍**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教育学研究科の森下佐織です。私は、もともと本好きなこともあり、大学生になってからも図書館にしょっちゅう出入りしていました。昨年、司書の資格を取得したこともあり、今後は皆さんの本を探すお手伝いもできるかなと思っています。見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね。

今回は、私が独断と偏見で選んだ『学生時代に読んでおきたい小説10選！』をご紹介します。

* **N（エヌ）という少年（ヒュー・ミラー）**

イギリス人の青年が旅先で出会う少年。その少年の生き方、考え方のすべてに尊敬を覚えます。

* **君は空を見上げたか（橋本　瑞希）**

幼なじみの男女3人がそれぞれの場所で、お互いを確認するために空を見上げるときの情景に心打たれます。

* **モリというモリ（和田　良知）**

モリとは何でしょう。森であり盛であり守であり…。あなたはどのモリが好みですか。

* **巻き髪ですが？（園田　佳織）**

小説ではなくエッセイです。バイオリニストの園田さんの意外な一面に心を奪われます。

* **非情の雨（古賀　寛）**

シベリア抑留に関する自伝的小説です。この出来事を知らないでは済まされません。

* **友達からの…（増原　清香）**

実はあなたの隣で起こっている出来事かもしれません。そう考えると眠れなくなります。

* **ホワイトシンドローム（塩村　樹）**

塩村さんの短編集は、情景の描写が素敵です。学生時代にこういう表現に触れておくと必ずためになります。

* **サクラの時（稲村　聖人）**

主人公が成長していく姿に自分を重ねたくなる本です。こんな風に成長したい！と思わずにはいられません。

* **おとなりいいですか（辻　真由）**

人の出会いは偶然なのか必然なのか…答えはないのに思いを巡らせてしまいます。

* **オレンジピール（平岡　浩介）**

出会いから別れまで、無駄なことは何もないと思える恋愛バイブルです。

**今月の新刊ピックアップ**

今月の新刊は、7分野80冊です。その中から学生の皆さんのリクエストにより入荷した書籍をいくつかピックアップしてみました。ぜひ図書館に足を運んで借りてください。

哲学

ジャカルタで考えた100のこと（佐田　博）

宗教ってどんなもの（弘田　もこ）

細かいことにとらわれない人（佐々木　智子）

四国八十八カ所めぐりを終えて（実森　香苗）

死ぬまで生き抜く（幸田　佳世）

歴史

暮らすように過ごしたパリ10日間（アラマン　君江）

とにかく島で暮らしてみよう（武田　俊平）

社会科学（政治・経済・教育分野）

学生時代に身に付ける社会常識（中村　明弘）

君はリーダーになれるのか（井原　優）

みんなちがって みんないい世の中とは？（草場　真由美）

お金の動きから何がわかる？（東　雄太）

自然科学（数学・理科・動植物分野）

おもしろいほどわかる自然のしくみ（今野　隆弘）

統計学のすべて（濱田　恵里子）

遺伝子諸事情（関根　健太郎）

量子論を学ぼう（三原　亘）

芸術

僕が好きな印象派（高橋　佳宏）

これを見ずして死ねるか（金子　真也）

戦火をくぐった芸術 （岩谷　敬一郎）

編集後記

新入生の皆さん、初めての「富士川大学　図書館便り」は楽しんでいただけましたでしょうか。

この図書館便りは年間5回の発行です。次回は夏ごろの発行を予定しており、長い夏休みにぜひ読んでいただきたい小説を特集しようと思っています。楽しみにお待ちください。